

令和6年度

全国学力・学習状況調査の結果分析と考察

草加市教育委員会

令和6年9月

令和6年度 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 調査概要

- | | | | |
|----------|------------------|-----|--------|
| (1) 実施日 | 令和6年4月18日(木) | | |
| (2) 調査対象 | 小学校第6学年及び中学校第3学年 | | |
| (3) 対象人数 | 小学校 | 21校 | 1,874人 |
| | 中学校 | 11校 | 1,770人 |

2 調査内容

- (1) 教科に関する調査
- ・小学校6年生：国語・算数
 - ・中学校3年生：国語・数学
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
- ※ 児童・生徒質問紙調査について、各校が指定された日にオンラインで実施

令和6年度全国学力・学習状況調査結果の分析について

調査結果

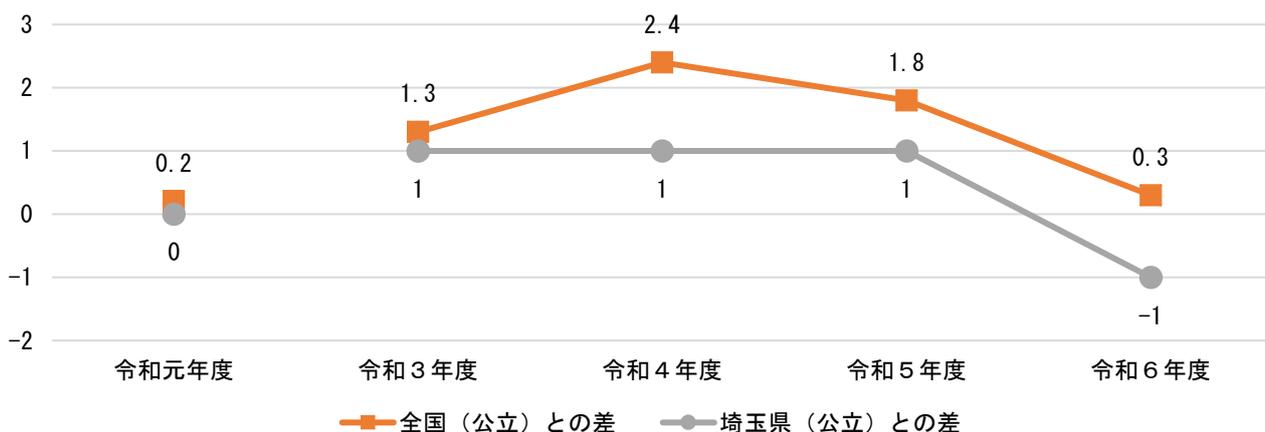
※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症にかかる学校教育への影響等が考慮され、実施されませんでした。

1 小学校国語

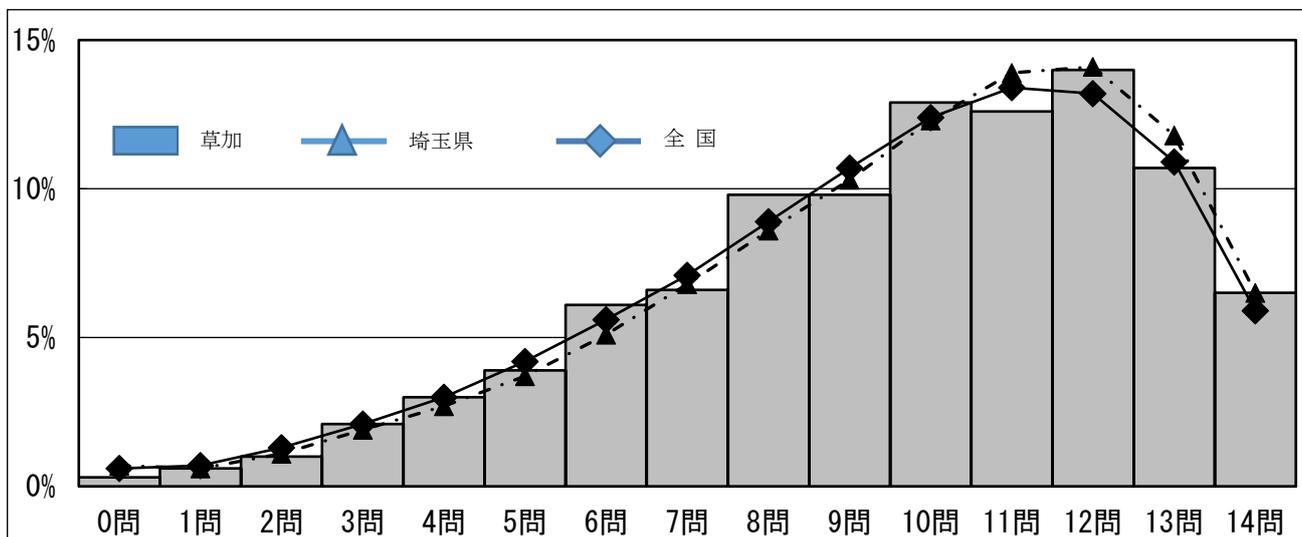
(1) 平均正答率の経年変化

【小学校】					
国語	平均正答率(%)				
	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全国(公立)	63.8	64.7	65.6	67.2	67.7
埼玉県(公立)	64	65	67	68	69
草加市	64	66	68	69	68
全国(公立)との差	0.2	1.3	2.4	1.8	0.3
埼玉県(公立)との差	0	1	1	1	-1

【小学校国語】平均正答率との差



(2) 正答数の分布



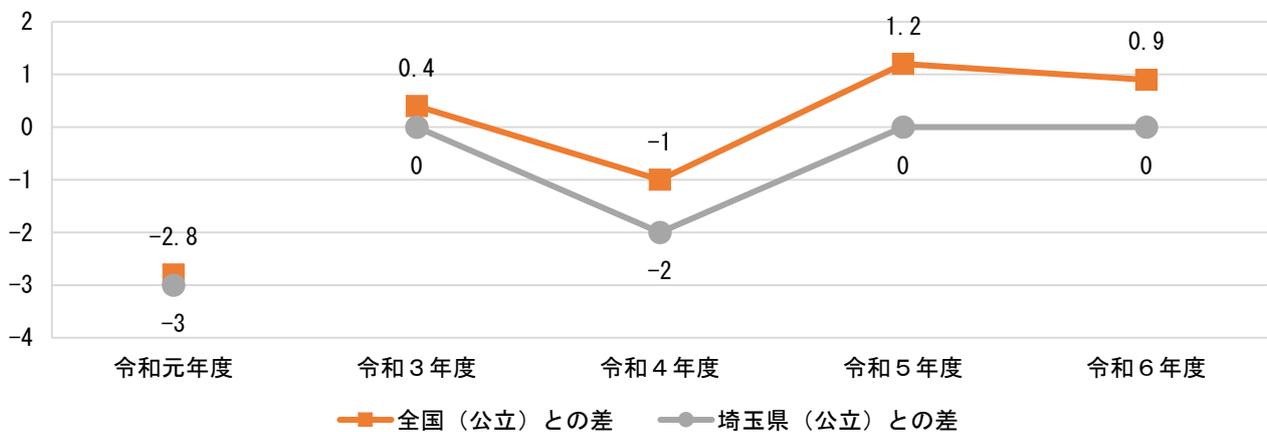
正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)

2 中学校国語

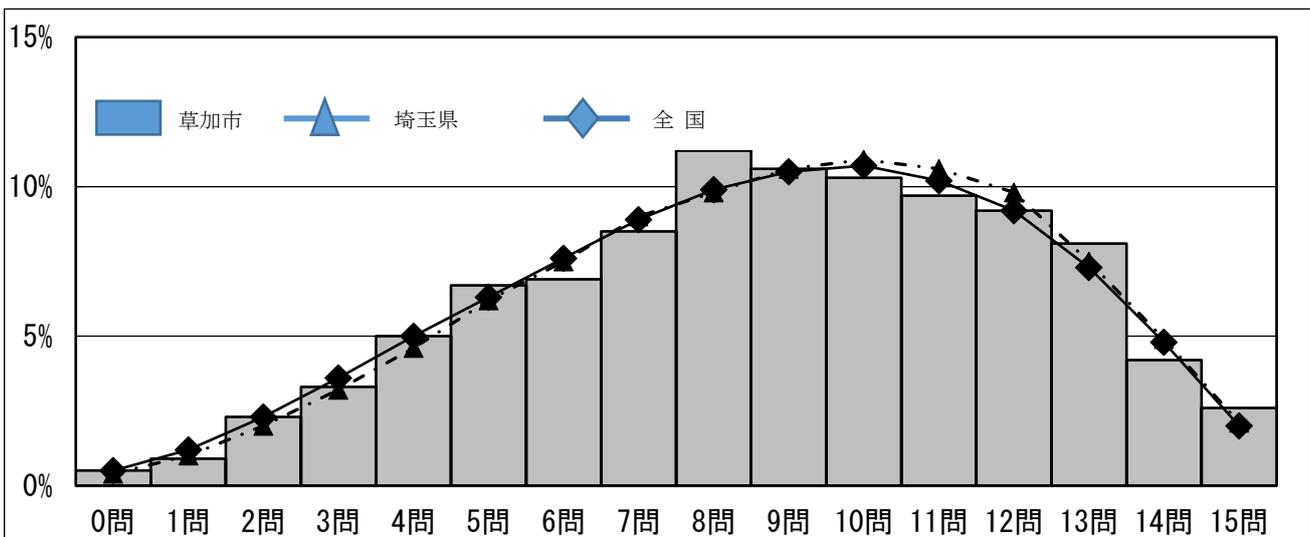
(1) 平均正答率の経年変化

【中学校】					
国語	平均正答率(%)				
	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全国(公立)	72.8	64.6	69.0	69.8	58.1
埼玉県(公立)	73	65	70	71	59
草加市	70	65	68	71	59
全国(公立)との差	-2.8	0.4	-1.0	1.2	0.9
埼玉県(公立)との差	-3	0	-2	0	0

【中学校国語】平均正答率との差



(2) 正答数の分布

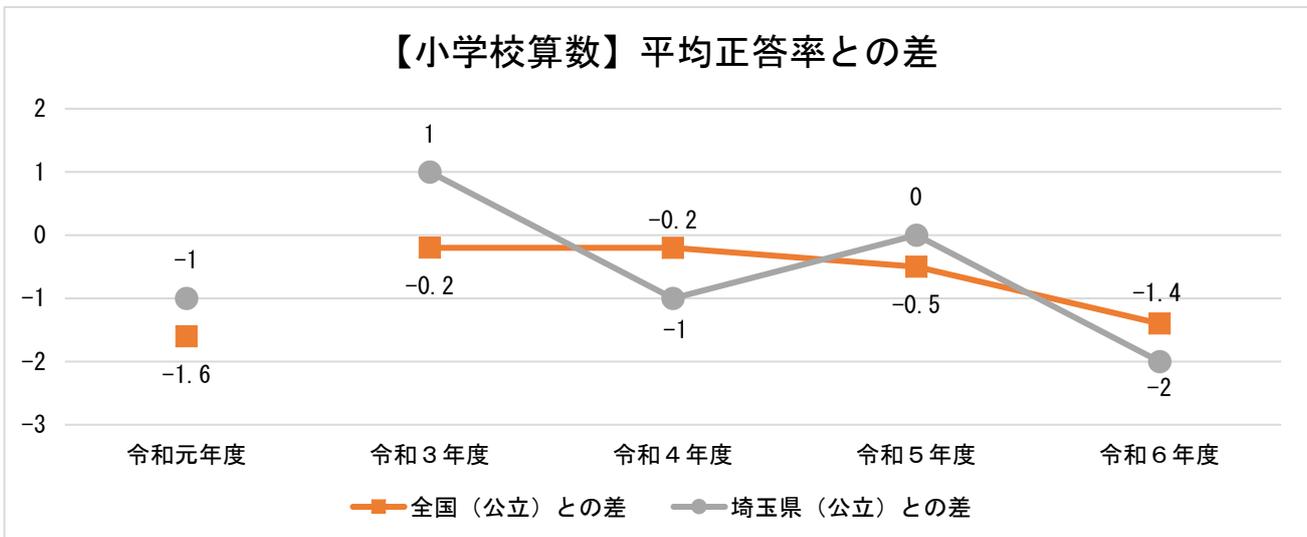


正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)

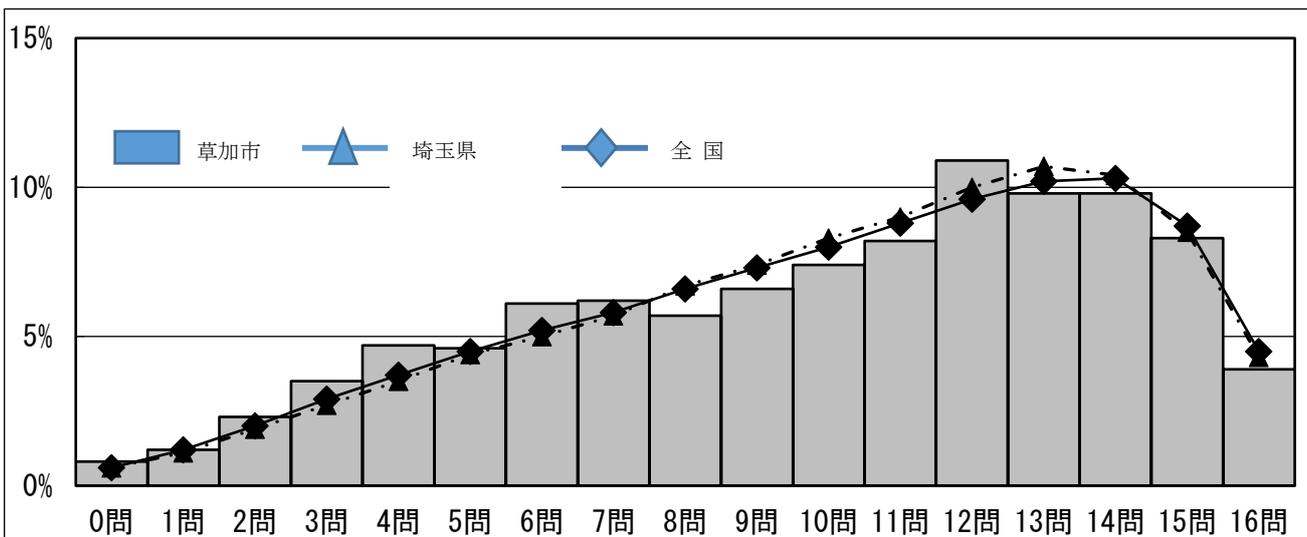
3 小学校算数

(1) 平均正答率の経年変化

【小学校】					
算数	平均正答率(%)				
	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全国(公立)	66.6	70.2	63.2	62.5	63.4
埼玉県(公立)	66	69	64	62	64
草加市	65	70	63	62	62
全国(公立)との差	-1.6	-0.2	-0.2	-0.5	-1.4
埼玉県(公立)との差	-1	1	-1	0	-2



(2) 正答数の分布



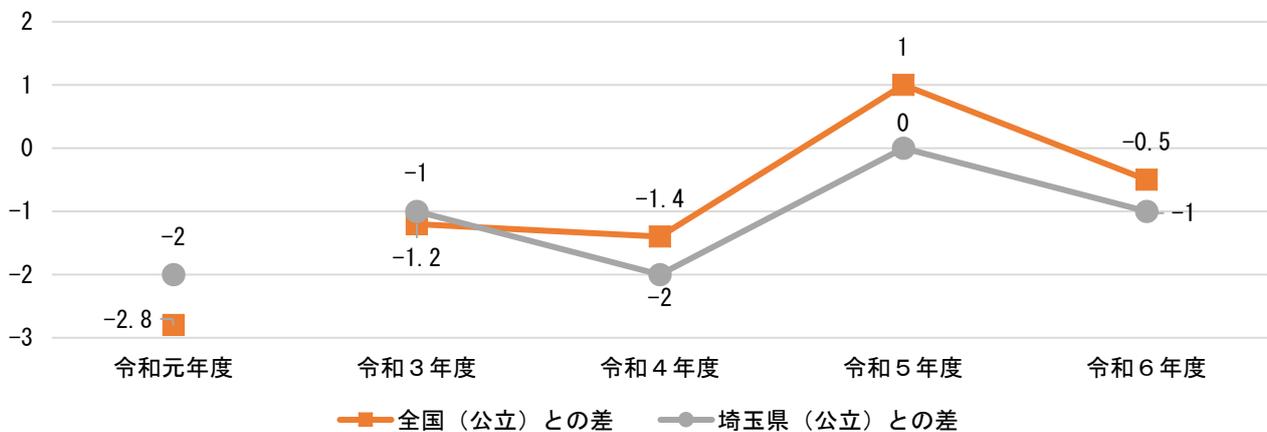
正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)

4 中学校数学

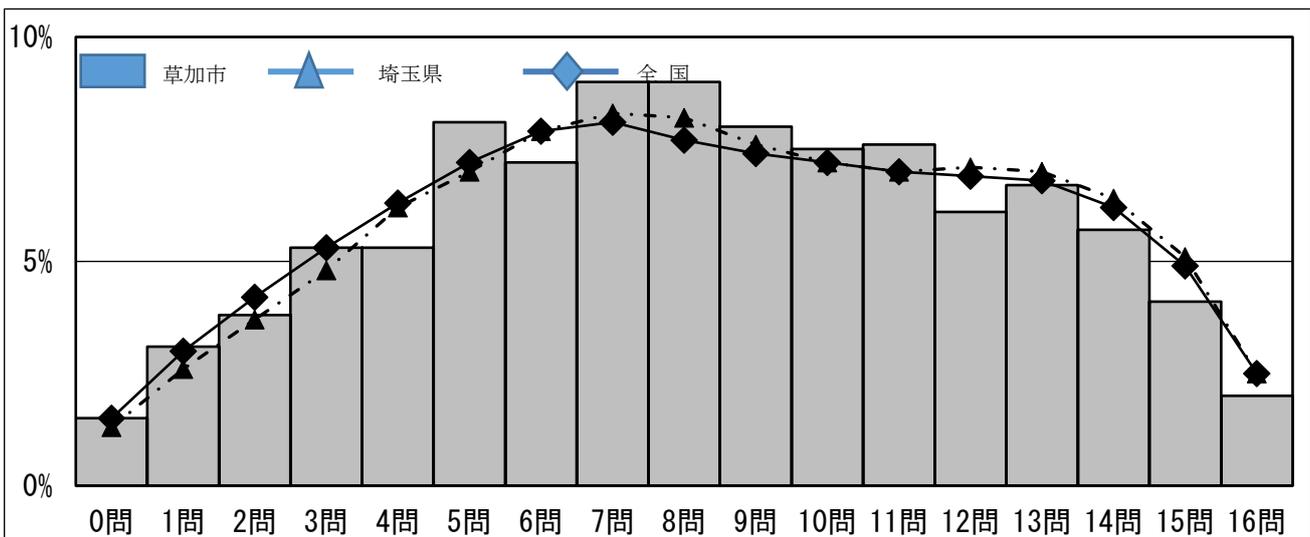
(1) 平均正答率の経年変化

【中学校】					
数学	平均正答率(%)				
	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全国(公立)	59.8	57.2	51.4	51.0	52.5
埼玉県(公立)	59	57	52	52	53
草加市	57	56	50	52	52
全国(公立)との差	-2.8	-1.2	-1.4	1.0	-0.5
埼玉県(公立)との差	-2	-1	-2	0	-1

【中学校数学】平均正答率との差



(2) 正答数の分布



正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)

成果と今後の指導の重点（小学校）

教科	◎全体の傾向 ◇成果が見られた項目 ◆今後の指導の重点
国語	<p>◎全国の平均正答率を上回っている。</p> <p>◎草加市の無解答率は、全国及び県の無解答率よりほとんどの設問で低くなっている。</p> <p>◇「知識及び技能」我が国の言語文化に関する事項に係る設問の正答率が高い。</p> <p>◇【読むこと】 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。</p> <p>◇【情報の扱い方に関する事項】 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。</p> <p>◆【書くこと】 目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるようにするための書き表し方を工夫すること。</p> <p>◆【言葉の特徴や使い方に関する事項】 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく書くこと。</p>
算数	<p>◎全国及び埼玉県との平均正答率の差は、令和元年度から年毎の差はありつつも縮まっているが、今年度については下回っている。</p> <p>◇【図形】 直方体の見取り図や直径、円周の長さ、円周率の関係について理解していること。</p> <p>◆【データの活用】 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを記述すること。</p> <p>◆【図形】 球の直径の長さと立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すこと。</p>

成果と今後の指導の重点（中学校）

教科	◎全体の傾向 ◇成果が見られた項目 ◆今後の指導の重点
国語	<p>◎全国及び埼玉県との平均正答率の差は、概ね上昇傾向である。</p> <p>◇「知識及び技能」我が国の言語文化に関する事項に係る設問の正答率が高い。</p> <p>◇【情報の扱い方に関する事項】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>◇【書くこと】 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>◆【読むこと】 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。</p>
数学	<p>◎全国及び埼玉県との平均正答率の差は年々縮まってきており、令和6年度は全国及び県と同程度である。</p> <p>◎「思考・判断・表現」に関する設問において、記述式で解答する問題の無回答率が高い傾向がある。</p> <p>◇【関数】二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができる。</p> <p>◇【図形】筋道を立てて考え、証明することができる。</p> <p>◆【数と式】目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること。</p> <p>◆【数と式】統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見いだし、数学的な表現を用いて説明すること。</p>

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について【児童生徒質問紙調査】
 【「草加っ子の基礎・基本」に関連する質問事項】

	質問事項	校種	全国		埼玉県		草加市		R5との比較
			R5	R6	R5	R6	R5	R6	
自分のよさを大切にします 友達を認め大切にします	1 自分には、よいところがあると思う	小学校	83.5	84.1	85.6	85.9	83.9	83.3	
		中学校	80.0	83.3	82.4	84.7	80.8	81.1	↑
	2 友達関係に満足している	小学校	90.3	91.1	91.0	91.3	89.2	91.5	↑
		中学校	88.7	90.1	88.6	90.4	86.8	88.4	↑
	3 普段の生活の中で、幸せな気持ちで過ごしている	小学校	91.0	91.7	91.2	91.8	89.5	90.3	↑
		中学校	86.8	89.8	86.6	89.9	85.9	88.1	↑
「知」の基礎・基本	4 友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりする ※R5:友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする	小学校	81.8	86.3	84.7	88.9	82.4	87.4	-
		中学校	79.7	86.1	83.6	88.7	83.0	87.5	-
	5 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	小学校	63.7	67.6	68.4	73.3	66.3	68.6	↑
		中学校	62.1	64.8	70.1	71.8	67.9	70.7	↑
	6 課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ	小学校	78.8	81.9	83.0	85.4	80.6	82.2	↑
		中学校	79.2	80.3	83.6	84.1	82.2	82.0	
	7 学校の授業時間以外に勉強をしている時間 (平日1日当たり30分以上)	小学校	84.0	81.6	86.0	84.9	82.9	82.2	
中学校		83.8	82.7	85.8	84.6	87.7	84.4		
「徳」の基礎・基本	8 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	小学校	96.9	96.7	97.1	96.7	95.6	96.8	↑
		中学校	95.5	95.7	95.4	95.7	95.9	94.4	
	9 人が困っているときは、進んで助けている	小学校	91.6	92.7	93.2	94.0	90.4	93.8	↑
		中学校	88.1	90.1	90.0	91.6	89.3	90.5	↑
「体」の基礎・基本	10 朝食を毎日食べている	小学校	93.9	93.7	94.4	94.4	93.3	93.5	↑
		中学校	91.2	91.2	91.5	91.7	91.3	91.4	↑
	11 毎日、同じくらいの時刻に寝ている	小学校	81.0	84.4	83.1	84.5	80.6	84.4	↑
		中学校	78.0	80.7	79.5	81.0	79.6	78.8	
	12 毎日、同じくらいの時刻に起きている	小学校	90.5	91.6	91.7	92.3	89.7	91.4	↑
		中学校	91.3	92.5	91.5	92.5	91.8	92.2	↑
	13 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている	小学校	-	71.1	-	71.3	-	68.5	-
		中学校	-	72.2	-	72.4	-	64.4	-
14 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	小学校	75.7	82.5	79.6	85.4	76.7	84.5	↑	
	中学校	71.6	80.6	77.8	85.1	75.2	82.9	↑	

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合(質問7は除く)〔%〕

 : 全国平均を上回るもの
 : 県平均を上回るもの
 : 前回調査比増

質問紙調査からの分析

1 草加っ子の基礎・基本に関する質問紙調査

<p>自分のよさを大切にします 友達を認め大切にします</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分には、よいところがあると思う」について、令和5年度と比較すると「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、小学校はほぼ横ばい、中学校は向上している。令和4年度以降、小中学校ともに <u>上昇傾向が継続している</u>。 ○ 「友達関係に満足している」「普段の生活の中で、幸せな気持ちで過ごしている」について、小中学校ともに令和5年度と比較して向上している。特に、中学校について、<u>2%以上の向上</u>が見られる。
<p>「知」の基礎・基本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知」の基礎・基本と関連性のある質問事項について、全国平均を <u>全ての項目で上回っている</u>。 ○ 「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」について、小中学校ともに令和5年度と比較して <u>2%以上向上している</u>。 ○ 「課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は、令和4年度以降、<u>小中学校ともに上昇傾向</u>が継続している。
<p>「徳」の基礎・基本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、小学校が令和5年度と比較すると向上している。 ○ 「人が困っているときは、進んで助けている」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、<u>小中学校ともに令和5年度と比較すると向上</u>している。特に、小学校について、<u>3%以上の向上</u>が見られる。
<p>「体」の基礎・基本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、<u>小中学校ともに令和5年度と比較すると概ね向上</u>している。